

放課後等デイサービス グローリーII 評価表（保護者向け）

調査時期：令和5年12月 回答率：54.5%（18/33）

【目的について】

※学校名やお子さんのお名前等は学校や子どもと変換しております

質問① 利用者が、サービスを利用する目的や目標などはどのようなことですか

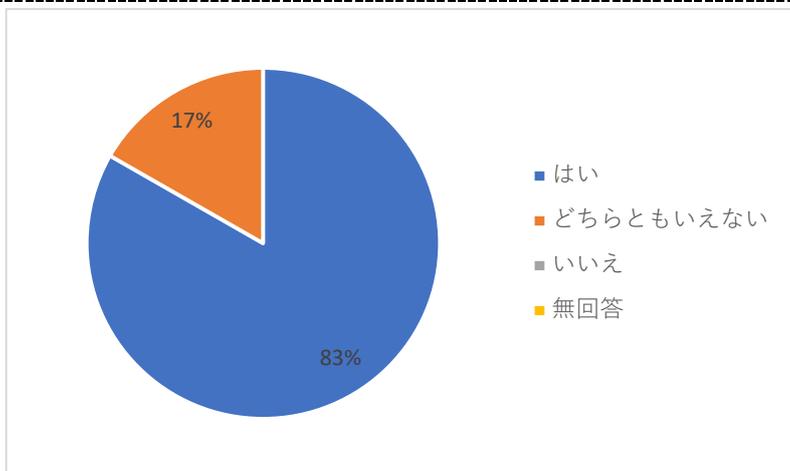
- ・自立を目指して、自分でできることを増やしてほしい。
- ・社会人として自立していけるように
- ・人との関わり方、コミュニケーションなど家庭ではできないことを経験させたい
- ・子ども成長における支援
- ・人との繋がり、新しい環境でも自分らしく良好に人間関係を作れるようになって欲しい
- ・社会のルールや約束を理解して学校や集団の中での楽しみ社会性を向上していく。
- ・以前利用していたデイが閉鎖したため、探していました。本人が楽しく友達と仲良く、又活動を楽しみすごせる為。
- ・社会に出る前に、集団生活を身につけて欲しいから。
- ・相手と話す時、クネクネせず相手に相手を見てハッキリとした言葉ではなせるようになってほしい。「学校で」いろんな実習に行き職業を決めていきたい。
- ・多くの経験等をさせて頂く中で、自ら考え、行動する事が出来るようになり、又、将来他者からの支援がスムーズに受け入れられるような環境を作るため。
- ・子供の成長のため
- ・衝撃的な行動が抑制できるようになり、適切なコミュニケーション力を身につけてほしい。
- ・色々な事を体験して、色々なことを学んでほしい。
- ・社会性の向上、自己肯定感を高めてほしい
- ・たくさんを経験してほしい（学校ではしていないことなど）
- ・周りの人とスムーズにコミュニケーションをとれるようになってほしい、色々な体験をすることによって初めてのことでチャレンジできるようになってほしい。
- ・放課後や休日を充実させたい。

質問② 「1」の目的や目標の達成度や満足度はどのくらいのものでしょうか

- ・いろいろな活動をしてくださりありがとうございます。
- ・1つずつ少しずつですが、子供の成長を感じています。
- ・言葉づかい、相手の気持ちがわかるようになったと思います。
- ・思った以上の成長がみられます
- ・グローリーに入って、年下の友達とあそんだり、年上の友達と話をしている姿を見て安心しています。少し、積極的になっています。
- ・長期的な目標はあるが、少しずつではあるが、成長していると思う。満足している。
- ・とても楽しく満足して毎回楽しみにしています。
- ・お泊りや長期休暇のお出かけ等、なかなか経験できないことを参加させていただけるので満足しています。
- ・利用し始めた時に比べれば、落ち着いてきました。難しい状況に立つとまだ少し肩が動きますが。
- ・大満足です。
- ・入学当初は気持ちの切り替えが難しかったですが、最近は上手に切り替えられるようになってきています。
- ・まだ課題はありますが、少しずつ良い方向に向かっていていると思います。
- ・色んな体験や色んな事を学ばせてもらっています。大変満足しています。
- ・日々の積み重ねにより、達成できている。成長を感じ、満足させてもらっている。
- ・年を重ねるごとにできるようになっている。
- ・少しずつではありますが、できてきていると思います。がまんしていることも多いので、いやなことも少しは言えるようになるといいです。

【環境・体制整備について】

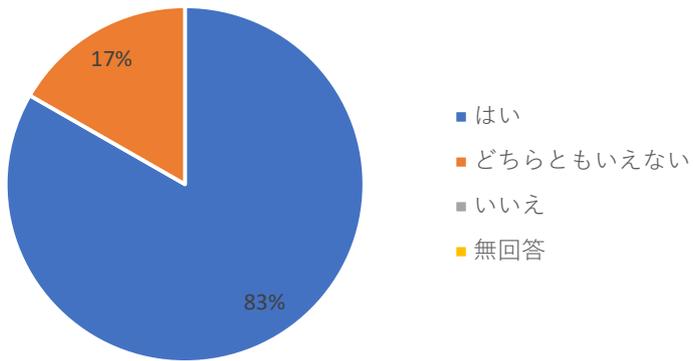
① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。



- ・いつも清潔にして頂きありがとうございます。
- ・活動の様子（室内で）を見る機会がないので分からない。

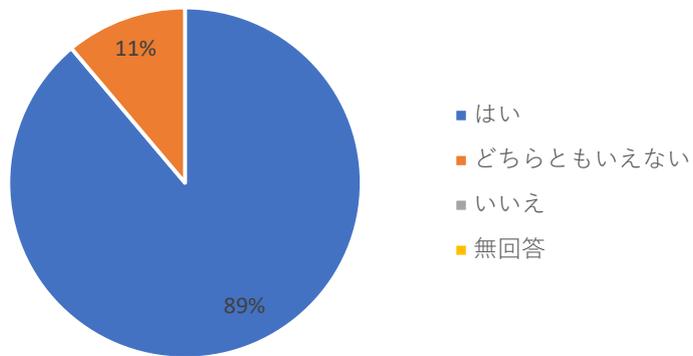
② 職員の配置数や専門性は適正であると思いますか。

・心理的な専門をもった人がいてほしい



③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされていると思いますか。

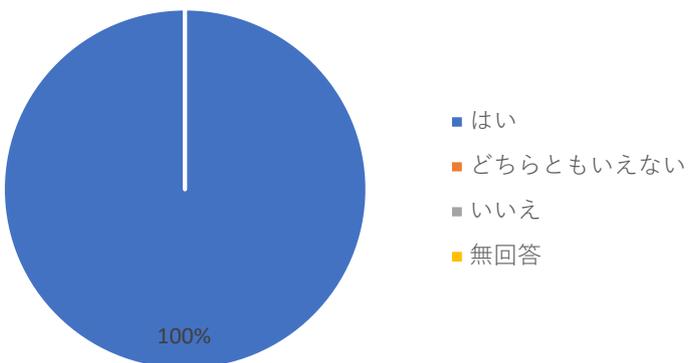
・バリアフリー-に-について詳しくないので、わかりません。
・あまり中のことをよく見たことがないのでこの解答とさせていただきます。(どちらでもない)



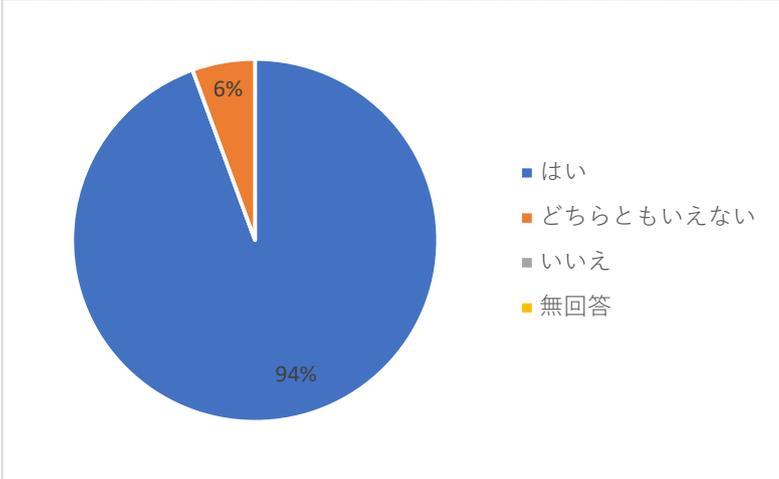
【適切な支援の提供について】

④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。

・状況に合わせて、個別支援が受けられとても感謝している

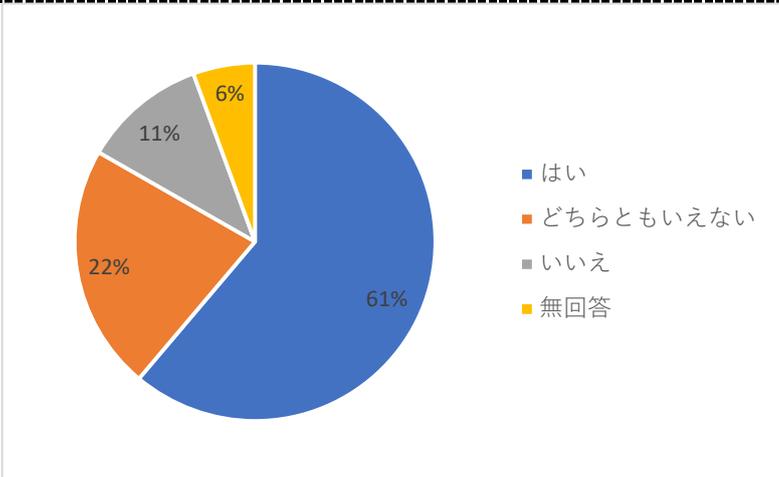


⑤ 活動プログラム(グローリータイム)が固定化しないよう工夫されていると思いますか。



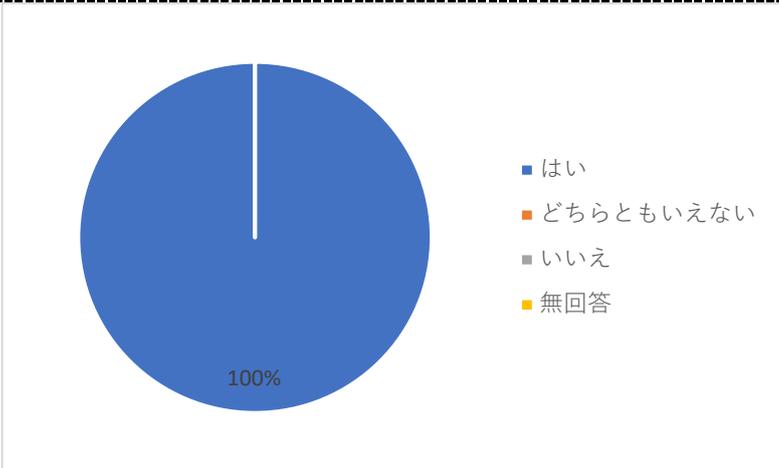
- ・いろいろな体験、経験をさせていただいています。
- ・時々新しい活動もお願いしたい

⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があると思いますか。



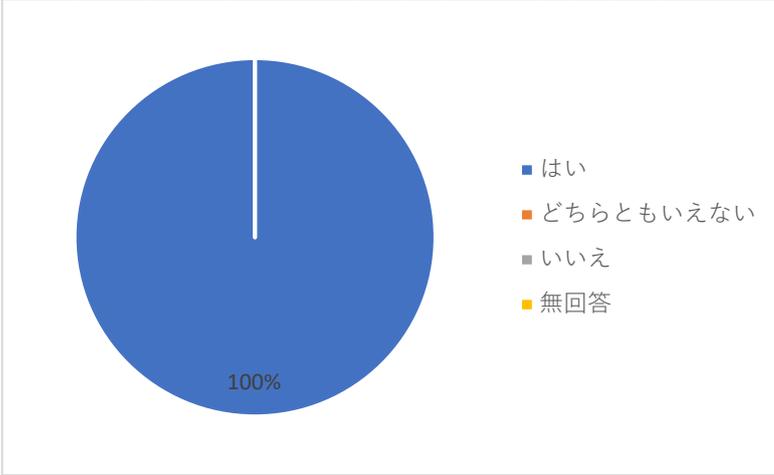
【保護者への説明等について】

⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていると思いますか。

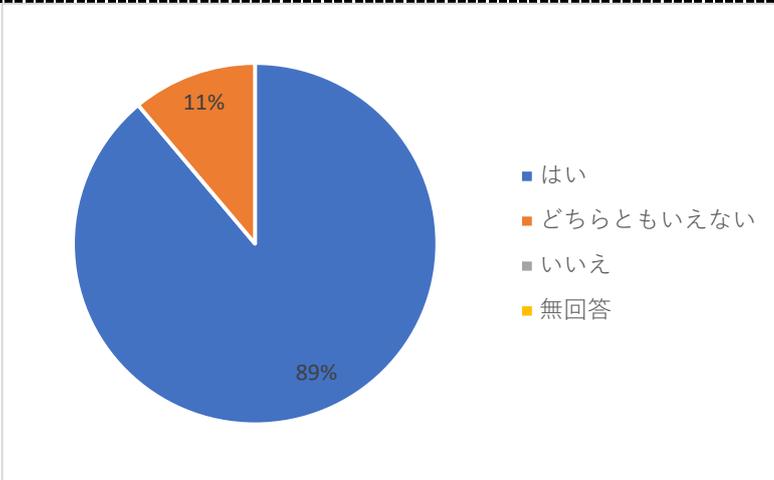


⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていると思いますか。

・助かっています

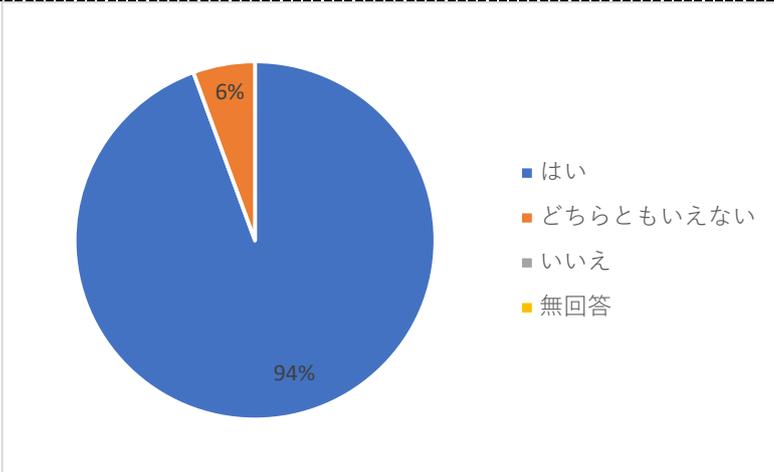


⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていると思いますか。

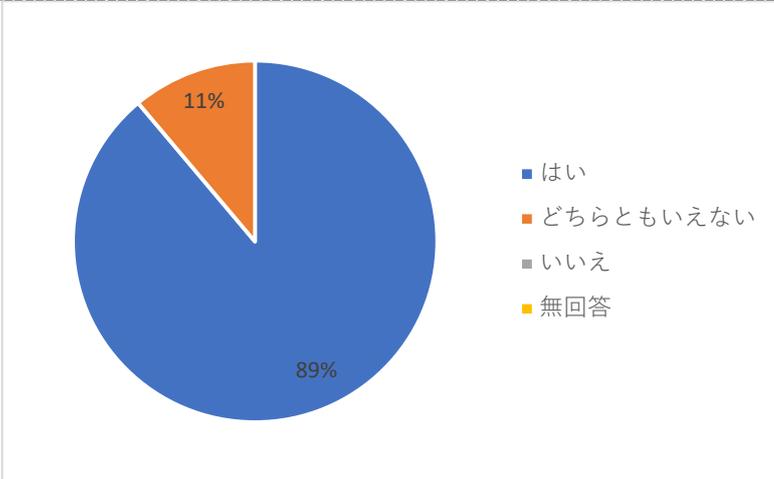


⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていると思いますか。

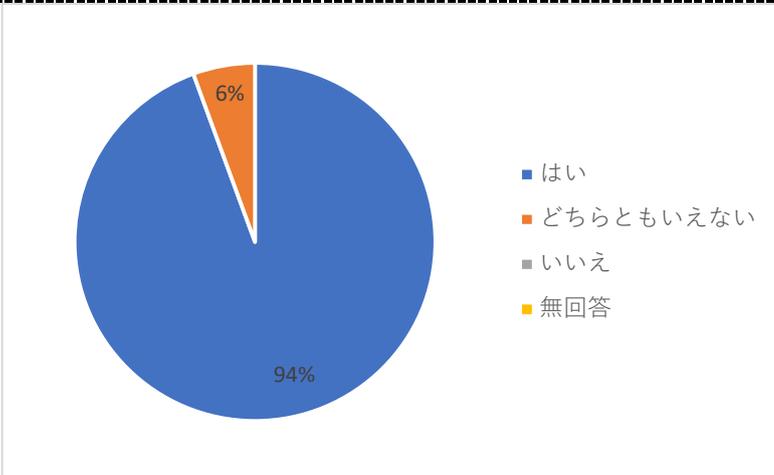
・保護者同士の連携はありませんが父母会の懇親会は、とても楽しく学べるし嬉しい。
・毎回同じ人になってきている



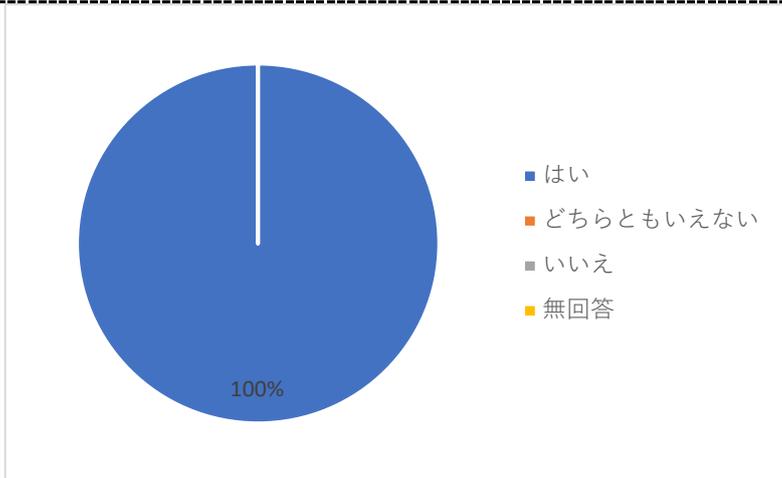
⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していると思いますか。



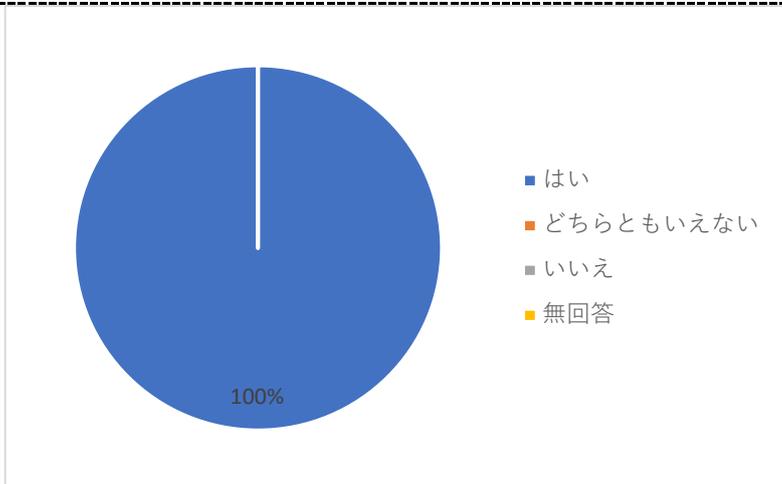
⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。



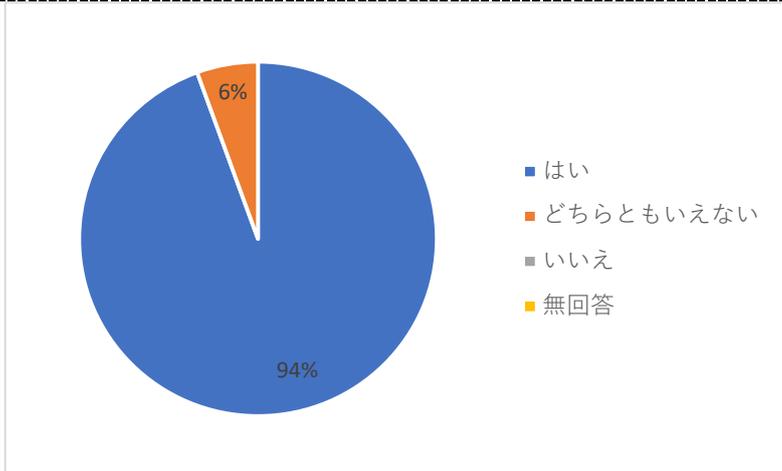
⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信していると思いますか。



⑭ 個人情報に十分注意していると思いますか。



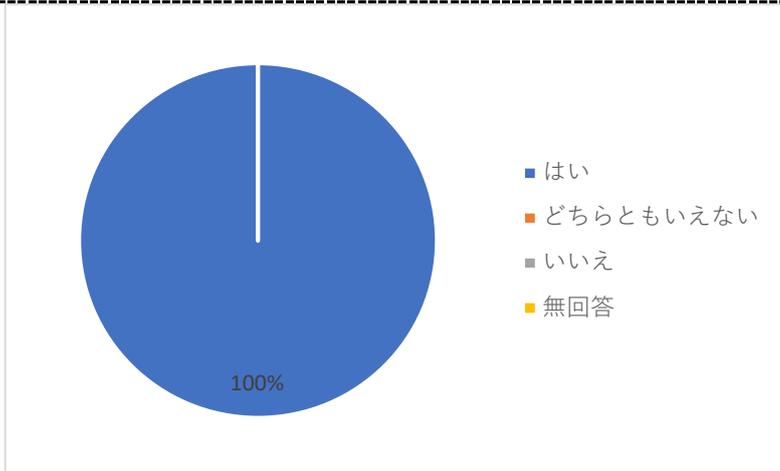
⑮ 新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染対策をしっかりと行えていると思いますか。



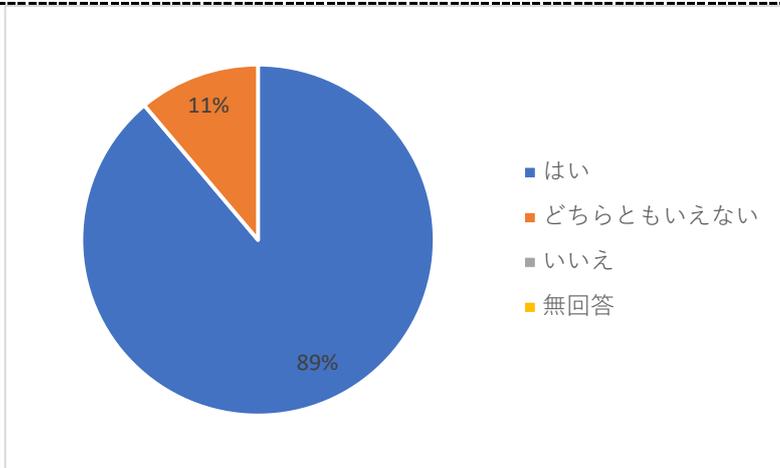
- ・抗原キットを配布していただける等、対策は十分だと思う。
- ・風邪気味の方は子どもが持病がある為マスク着用をお願いしたい
- ・手洗いうがい指導をして下さりありがたい。

⑯ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていると思いますか。

・認識不足です

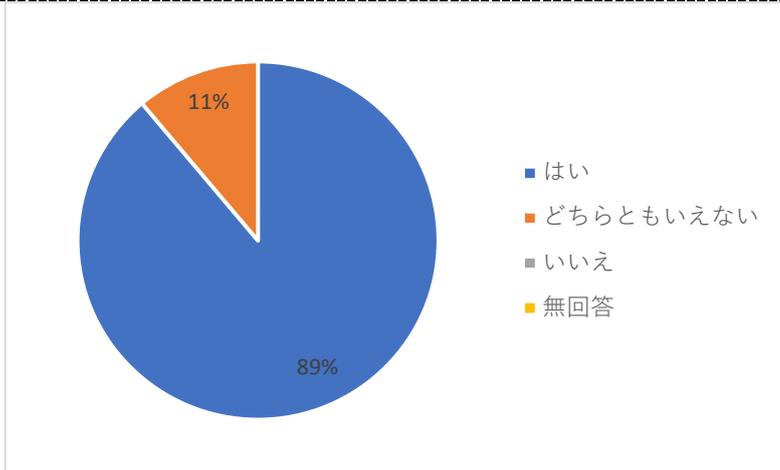


⑰ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていると思いますか。

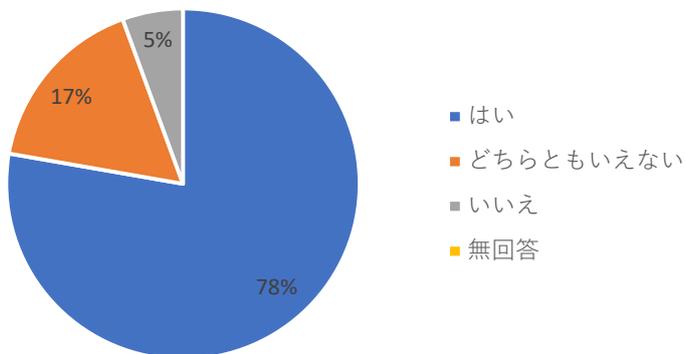


⑱ 手洗いうがいの他、デイサービス内に、エアロシールド（紫外線殺菌装置）や冬場は大型加湿器の設置。送迎車内にクレベリンを設置するなど感染対策は十分行えていると思いますか。

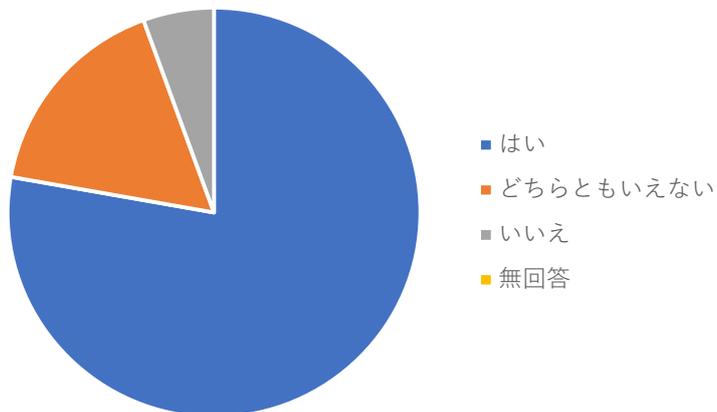
・質問15と同じく子どもに持病がある為、風邪気味の方々はマスクをしていただきたい。



⑱ マスク着用について、原則個人の判断が尊重される中、福祉施設として送迎車内での着用は継続しております。今後、学校や家庭と同じように、送迎車内含め職員も個人の自由として緩和する事に賛成ですか。

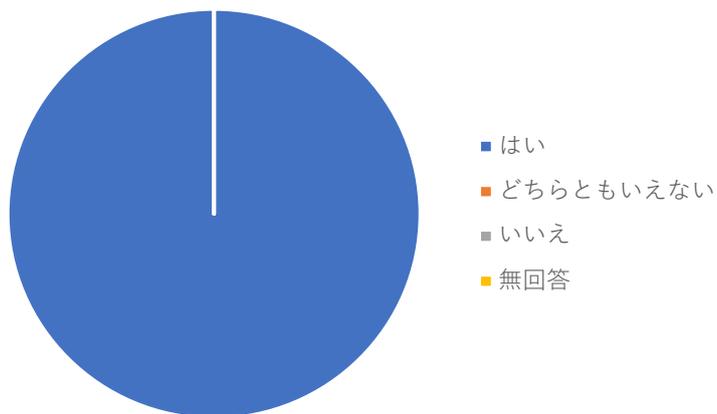


⑳ お子さんはグローリーに行くことを楽しみにしていますか。



・行くことを楽しみというより行く日と本人の中でルーティーンになっている
・行ったら楽しんでいるようですが、家族で過ごす時間が大好き。

㉑ グローリーの支援に満足していますか。



【その他】 ご意見やご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

・我が子はいつもグローリーに行くことが楽しく喜んで行っています。家庭だけではできない部分もしていただき、その日の様子も詳しく教えてください。感謝しかありません。

・いつもお世話になり、また楽しい時間を過ごさせていただき本当にありがとうございます。毎回とても楽しみにしています。水曜もキャンセルが出たら利用させて頂きありがとうございます。全盲で歩行も安定してなくいろいろとご心配、お手数おかけしてますが、今後ともどうぞよろしくお願い致します。いつも小さなことでも相談に乗っていただき、お話を親身にきいて下さり、本当に感謝しています。これからもいろいろと本人の思うことがありましたら、よろしくお願いたします。

・子供や保護者への支援には、大変満足しています。先生方がご都合で退職される方がいますが、子供も保護者も感謝の気持ちを伝えられないことを大変残念に思います。

・長期休み等、先生方がとてもハードワークだと思います。「子供達のために」という思いはとてもわかるのですが、職員のメンタルヘルス等、何か活動されていますか？

・家庭で教えていないのも悪いですが、お泊りの朝ごはんコンビニスタイルにするように、お泊りの時に100円もって行っていいようにして、ちょっとした駄菓子屋さんをひらいていただき自分でおやつを購入する機械があると良いなと思います。

・もうすぐ5年生です。入学前に比べると本当に成長したと思います。同級生にくらべてとても幼く、不安定感もつよいため、すんなりいっているようでいってないことも多々あるのですが、子どもなりにできることを増やしているようです。これからもグローリーさんでいろいろなことをさせていただきたいからだと思っています。本当にありがとうございます。

アンケート集計を終えて

保護者の皆さまには、毎年アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。

コメントいただきました内容について、現時点でお応えできること、ご対応等について下記の通り回答させていただきます。

質問2 職員の配置人数や専門性について

心理の専門の方の採用をご希望という件ですが、当事業所での採用対象として考えておりますので、入社希望の方がいれば、面接の上採用の可否を検討します。

現状、心理士がいない中、次のような対応をとっております。

1. 毎月、臨床心理士の先生を講師でお招きし、利用者の事例などを通じて職員が学ぶ機会を設けております。

2. 必要の応じで相談支援専門員を中心に、スクールソーシャルワーカーやかかりつけ医の医師と情報交換、共有を行っている事例もございます。

=専門性について= (昨年も掲載しているものです)

「専門」の定義がよくわからないと思います。当事業所の内部研修でもよく話しますが、放課後等デイサービスで働く為に必要な資格や知識を身に付ける研修会など、「これ!」という1つのものに限定ができません。例えば、保育園の先生になりたい方は保育士。学校の先生になりたい方は教員免許。児童の悩み相談を聞きながら成長をサポートしたい方(スクールソーシャルワーカー)は、社会福祉士・精神保健福祉士・臨床心理士。介護員(ヘルパーなど)になりたい方は介護福祉士。認知症の方へ専門として働きたい方は、認知症介護実践リーダー研修と言った資格や勉強会があげられます。

では、放課後等デイサービスで働くには!? 正解はたくさんあります!(保育士・教員免許、理学療法士、社会福祉士などなど)この複雑さについて、当社の見解は、子どもたち(小1~高3・様々な障がい種別)の育成・成長には多職種のかかわりで行われるからと考えています。なので、職員の〇〇さんは保育士です。教員免許所持者です。介護福祉士です。と言っても、イコール放デイの専門と直結しづらいと私たちも思います。当社では無資格者の採用を例に上げますと、強度行動障害支援者養成研修を受講させ、知的障がいや発達障がいの知識をまず身に付けていただき、行動障がいが起きる要因や予防的対応に努めることを覚えていただきます。次に、介護職員実務者研修を受講していただき、いわゆる福祉の業界ですので、介護職員としての基本的知識・介護技術を身に付けて頂きます。実務経験3年で介護福祉士試験にチャレンジ。学歴にもよりますが、実務経験2年で保育士試験にチャレンジ。その他、同行援護従業者養成研修(視覚障がいの方の勉強)や、随時行政や関係団体が開催する研修会に出席しています。内部研修は月に1回、臨床心理士の先生(久留米大学教授(人間健康学部総合子ども学科)・元福岡女学院大学 子ども発達学科長・過去、保育園理事長・幼稚園園長代理も努めた)にお越しいただき、発達臨床心理学や子ども学の講義や、事業所内の事例をもとに検討会などを行っています。また、さらに月に1回、放デイのみならずヘルパーや相談員も含めて全体研修会として、毎月研修会を実施しています。

前置きが非常に長くなりましたが、グローリーでは、放デイという業界のスペシャリストを目指すより、来ていただいている目の前の利用児童1人1人のことをよく見て、理解して、何をどうしたらできるが増えるのか。それを一緒にチャレンジできる場づくりと成功体験につなげられることを目指しています。

その裏返しとして、各職員の所有する資格をアピールする機会も少なかったことも事実ですので、近いうちに、一度お知らせできればと考えています。(令和5年度は職員紹介を栄光の架橋にて掲載させていただきました。)

質問6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会について

このような機会は非常に重要と考えていますが、なかなかできていないのは事実です。ネガティブな考えで申し訳ないですが、交流の機会を調整する際に大きな課題が3点。1つ目は、相手側（障がいのない団体）は近年、障がいがある方とのかかわりをビジネス的な要素にする。SNSなどに沢山取り上げられるケースが多い事、2つ目はケガをした際の責任の所在の明確化など、トラブル（その時）が起きたときの対応。3つ目はよい意味で、友好関係となった際に、グローリーや家庭から離れた場所で子ども同士が付き合い出した際のトラブル等。このようなことを考えながらお付き合いのできる団体等は現状ありません。

これまでの当事業所の対応は、田植え稲刈り、もちつき等へ代表の平川が関係する水泳団体の方（障がいのある人・ない人）や利用児童のきょうだいの方、グローリーのご近所の方に参加いただいています。

今後も、交流できるようなチャンスがあれば実施して行きます。

質問15・18・19 感染対策などについて

マスク着用について。子どもたちにとって、外すのが正解なのか、つけておくのが正解なのかわからない場面が多くあります。現在は、活動時は外し、室内活動でも外すようになりました。送迎車内や風邪気味の方は着用としております。職員についても、子どものモデルになる意味でもそのような場面に応じて着脱をしております。マスクの着用ののみに焦点を当てるのではなく、日頃からの手洗いうがいや、くしゃみをするとき、した後の処理なども指導していき、それぞれが自然と感染対策のスキルが上がることを期待しております。当事業所として、特にコロナ渦の時には、発熱者などが発生した場合は、101と103の2単位ある環境を活かし、一時的に発熱者もしくは疑いがあるグループと、それ以外で分けるなど臨機応変な対応を行った事例もございます。引き続き、感染対策には力を入れてまいります。その日の体調や、流行状況で不安がある方は遠慮なくご連絡ください。

質問16・17 各マニュアルや訓練等について

法改正なども含め、必要なマニュアルの作成および、研修、訓練も実施しております。避難訓練では、最寄りの避難指定場所（寒田小学校）まで歩いていき、道順の確認やその時間。また、利用者によっては車いすに乗っていただき、安全かつ速やかな避難ができるように行っております。現在の職員のほとんどが車いすでの移動介助に慣れな者が多く、その訓練結果から、職員同士で練習を行うような機会も増えてきております。

幸いにも、当事業所は津波と土砂崩れの心配がない立地状況です。火災や地震を中心とした訓練を実施しております。